

## 市民協働事業 相互評価シート

### 1 市民協働事業の概要

事業名称	横浜市自治会町内会新しい活動スタイル応援事業		
事業の実施者	事業者	株式会社 tvk コミュニケーションズ	
	行政	横浜市市民局地域活動推進課	
事業の目的	新型コロナウイルス感染症の影響が続く状況下においても、地域の絆をつなぎ、自治会町内会活動を継続・活性化していくため、ICTを活用した新しい活動スタイルを支援する。		
事業の内容	ICTを活用した会議、情報伝達等を体験する講座の実施、相談対応 等		
役割及び責任 分担等	必須項目	事業者の役割	横浜市の役割
	オンライン会議、LINEその他のツールを使った情報伝達・共有等の体験	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 講座の企画及び実施</li> <li>2 参加団体との連絡調整</li> <li>3 会場設営、運営サポート</li> <li>4 会議ソフトやLINE等の活用方法紹介</li> <li>5 上記に係る相談及び講座資料の配布</li> <li>6 参加者アンケートの実施、集計、実施報告書の作成</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 事業広報、事業者提案とりまとめ</li> <li>2 地区連合町内会との連絡調整</li> <li>3 参加団体募集、とりまとめ</li> <li>4 講座の企画・実施協力</li> <li>5 アンケート全体分析</li> </ol>
	ICT活用に関連した相談対応	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 相談会の企画及び実施</li> <li>2 電話・メール等による質問、相談対応</li> <li>3 相談対応記録の作成</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 地区連合町内会との連絡調整</li> <li>2 相談会の企画・実施協力</li> <li>3 相談事例のまとめ、紹介</li> </ol>
	今後のICT活用に向けた提案	ICT活用に向けての課題整理、活用手法の提案	ICT活用に関する今後の支援策の検討
実施期間	令和2年10月12日～令和4年1月31日		

記入日	令和4	年	1	月	31	日
・団体等名：	株式会社 tvk コミュニケーションズ					
・記入責任者氏名	五十嵐 洋志					
連絡先：	045-548-4512					
・部署名：	横浜市市民局地域活動推進課					
・記入責任者氏名	木村 剛・大和田 晶子					
連絡先：	045-671-3624					

## 2 事業実施プロセス相互チェックシート

このチェックシートは、事業実施に伴う、それぞれの段階で、必要なことができたかどうか、相互にチェックをおこなうシートです。相互の視点からチェックを行い、その後、「2 事業評価相互検証シート」で総合的な評価検証をおこないます。

### ◎相互チェックシートの評価基準

よくできた	まあまあできた	あまりできなかった	まったくできなかった
A	B	C	D

### ①事業計画段階

	事業者	横浜市
この事業の目的やミッションを互いに共有し、理解することができたか。	A	A

### ②事業実施段階

	事業者	横浜市
互いの役割を自覚し、強みを生かしながら、積極的に取り組むことができたか。	A	A
参加者のニーズや事業の進捗に応じて、臨機応変に対応しながら取り組むことができたか。	A	A

### ③ふりかえり段階

	事業者	横浜市
参加者が満足を得られたかどうかについて、互いに結果を共有し、確認できたか。	B	B
事業目的を達成するため、互いが役割を果たし、期待された事業成果を得られることができたか。	B	B

### 3 事業評価相互検証シート

「2 事業実施プロセス相互チェックシート」の結果をもとに相互に本シートを作成し、まとめます。

<b>事業の計画づくり</b> (事業の計画段階で、お互いの認識に違いがあったこと、今後、改善が必要と思われることはありますか。)
<b>【共有できたことや認識に違いがあったこと】</b> ・担当者との打合せを通じて本事業の狙いを理解できた。
<b>【今後改善が必要と思われること】</b> ・自治会・町内会の多様性への理解。
<b>事業実施</b> (協働して事業を実施した結果、お互いの認識に違いがあったこと、今後、改善が必要と思われることはどのようなものですか。)
<b>【共有できたことや認識に違いがあったこと】</b> ・自治会・町内会の主要メンバーには ICT への理解が高いかたとそうでない方が混在していた。
<b>【今後改善が必要と思われること】</b> ・事業の継続 ・地域の課題の掘り起こしと、ICT 及び ICT 以外のツールによる課題解決を如何に図っていくか。
<b>事業の成果</b> (協働して事業を実施した結果、得られた成果はありますか。また、事業全体を通して、当初期待された事業効果は得られましたか)
・多くの事業者が参加したことにより、多くの連合町内会にて講座が開催できた。 ・協働事業者として、行政担当者と複数打合せを行うことで、本事業や行政の取り組みへの理解を深めることができた。
<b>自由記入欄</b>
・事業者交流会が開催できたことは大きいと思う。 ・事業者との連携の継続（講座の継続、交流会の継続、等）について検討してほしい。 ・自治会・町内会のニーズを聞いた上で、ニーズ（防災、防犯、加入率向上等）やレベルにあった講座を開催してはどうか。 ・地域によりそう ICT 系の伴走者の育成が必要と感じた。